

対象国の条件 : 全世界 (紛争影響国が望ましい)
研修コース番号 : J1804035 **案件番号** : 1884524
主分野課題 : 平和構築/ガバナンス
副分野課題 : ガバナンス/行政基盤
使用言語 : 英語

案件概要

国家建設プロセスにある紛争影響国の治安担当者（内務省、法務省、中央警察組織など）が、法の支配確立、民主的な制度構築、中央一地方の権限分掌等、治安安定の基盤となる諸制度のあり方について明確なイメージを持つことは、紛争が再発しない国家の仕組み作りの上で非常に重要である。JICAが平和構築分野で支援を行っている紛争影響国を対象とし、各国における事業実施の基盤部分やネットワーク強化も狙う。

目標/成果	対象組織/人材
<p>【案件目標】 研修参加者が、安定した国家建設を適切に計画、策定、履行する為の望ましい治安維持システムのあり方に関する理解を高め、政策形成能力が向上する。</p> <p>【成果】 1. 参加研修員の各国の治安関連機関の現状及び国家建設上の課題について理解する。 2. 機能する治安維持システムのイメージを具現化する。 3. 日本の治安維持システムについて理解し、自国の治安関連機関の強化に参考となる教訓を抽出し、自国の問題解決への適用を図る。 4. 日本の地方における治安維持システムに関する基本的な仕組みを理解しつつ、地域における具体的な活動事例を通じて、地方における制度構築の参考となる教訓を抽出する。 5. 各国が目指すべき治安維持システムのあり方を認識し、その実現に向けた政策提言案を作成する。</p>	<p>【対象組織】 治安関連組織（内務省、法務省、中央警察組織等）</p> <p>【資格要件_職位】 中堅行政官</p> <p>【資格要件_職務経験】 当該分野、組織で10年程度の職務経験を有する常勤職員</p> <p>【資格要件_その他】 研修終了後、3年間は当該分野の職務に携わる者</p>

内 容											
<p>【事前活動】 ジョブ&カントリーレポートの作成</p> <p>【本邦研修】 1. 各国の治安関連機関の現状及び国家建設上の課題を整理し、事例を共有する。 2. 民主的ガバナンス概論、平和構築概論（講義） 3. 日本の治安行政、日本の司法制度と実際、治安関連組織の機能（講義・視察） 4. 日本の地方における治安維持システム（講義・視察） 5. 政策提言案作成・発表</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">本邦研修期間</td> <td>2018/7～2018/8</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">担当課題部</td> <td>社会基盤・平和構築部</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">所管国内機関</td> <td>JICA中国</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">関係省庁</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">実施年度</td> <td>2018～2020</td> </tr> </table>	本邦研修期間	2018/7～2018/8	担当課題部	社会基盤・平和構築部	所管国内機関	JICA中国	関係省庁		実施年度	2018～2020
本邦研修期間	2018/7～2018/8										
担当課題部	社会基盤・平和構築部										
所管国内機関	JICA中国										
関係省庁											
実施年度	2018～2020										

主要協力機関 調整中

特記事項及びホームページ